

質問日	令和元年 9 月 30 日 (月)		質問方式	分割方式			
質問順位	2	会派名	市民クラブ	議席番号	23	氏名	北野谷 富子
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 区の再編について	<p>(1) 8月1日の特別委員会では、住民投票結果の当局分析が報告された。これから、今後の議論の進め方についての協議が進んでいくものと思われるが、市長の思いを伺う。</p> <p>(2) 住民投票説明会では、参加者から市民サービスの低下に対する懸念についての質問や意見が相次ぎ、再編に対する漠然とした不安や、再編後の姿に対するイメージが浸透していない印象を受けた。改めて、市民が具体的に思い描き、再編への不安を払拭できる「再編後の姿」について伺う。</p>						鈴木市長
2 女性の活躍推進について	<p>「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（通称「女性活躍推進法」）」が平成27年9月に施行されてから、その機運は高まり続け、本市でもさまざまな形で女性の活躍を推進してきた。これまでの経過と取り組みについて、以下4点について伺う。</p>						鈴木市長
(1) 女性活躍の取り組みについて	<p>(1) 市長は、平成28年5月31日に開催された指定都市市長会議において、20政令市の全市長らとともに「イクボス宣言」を行い、内閣府が支援する「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言に賛同するなど、組織のトップを務める男性リーダーとしてさまざまな女性の意欲を高め、その持てる能力を最大限発揮できるよう率先して行動してきた。</p> <p>そこで、これまでの成果と、今後の女性活躍に向けた取り組みについて伺う。</p>						鈴木市長
(2) 女性の登用について	<p>(2) 平成28年3月、「はままつ女性職員活躍応援プラン」を策定した。その中で平成32年度までに女性職員の管理職の比率を15%にするという数値目標を掲げている。</p> <p>そこで、本市においてキャリアアシスト研修や女性職員育成研修を行うなどの取り組みをさらに推進すべきと考えるが伺う。</p>						川嶋総務部長
(3) 男性の育児参加について	<p>(3) 女性の活躍を推進していく中で、男性の育児への協力と職場の理解、管理職の意識改革は必要不可欠であることは広く知られているが、実態が追いついていないと考える。育児参加がしやすい職場環境の実現を目指しているとは理解しているが、本市の育児短時間勤務制度の取得率も含めた現状とさらなる取り組みについて伺う。</p>						〃
(4) 消防団における女性活躍推進について	<p>(4) 消防団における女性団員の役割と今後の見通しについて伺う。</p>						鵜飼消防長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
3 はままつ式30人学級編制について	<p>現在、本市独自の施策として小学1・2年生を対象に、30人学級編制を実施している。</p> <p>そのことにより、学校現場においては、教員と児童、児童同士の親密な関係を築くことができ、児童に基本的な生活習慣や学習習慣を身につけさせることができるとの高評価を得ている。</p> <p>そこで、少人数学級をさらに充実させるべきと考えるが、以下3点について伺う。</p> <p>(1) 令和元年度の配置状況について伺う。</p> <p>(2) 30人学級編制実施による成果について伺う。</p> <p>(3) 今後、対象学年を拡充していく考えはないか伺う。</p>	花井教育長
4 小・中学校施設の長寿命化について	<p>公共施設等総合管理計画では、小・中学校、高等学校は本市が保有する公共建築物全体の延べ床面積の約36%を占め、長寿命化を図っても改修・更新経費は今後50年間で3676億円必要と見込まれている。</p> <p>特に、老朽化が目立つ小・中学校の校舎など小・中学校施設の長寿命化は急ぐ必要があると考える。</p> <p>そこで以下2点について伺う。</p> <p>(1) 小・中学校施設の現状について伺う。</p> <p>(2) 小・中学校施設の長寿命化の取り組み状況について伺う。</p>	伊熊学校教育部長
5 会計年度任用職員制度導入について	<p>来年4月から、新たに会計年度任用職員制度が創設されることに伴い、臨時・非常勤職員の任用のあり方が大きく変わる。このことについて新たな枠組みや財政上の影響、人材の確保などの課題について、以下4点伺う。</p> <p>(1) 新制度の創設に伴い、いわゆる非正規職員の枠組みがどのように変わるのか伺う。</p> <p>(2) 現行の臨時・非常勤職員の身分や勤務条件はどのように取り扱われるのか伺う。</p> <p>(3) 新制度の創設に伴い、全体としてどの程度の人件費が増加すると見込んでいるのか。</p> <p>また、増加分について短期的・中長期的にどのように対応していく考えかあわせて伺う。</p> <p>(4) 市内小・中学校において、多くの非常勤講師、支援員、補助員が配置されているが、学校現場では、これまでと同じように非常勤講師などが配置され、学校運営がサポートされるのか不安視されている。現状、サポートしている人員は確保されるのか。今後、学校現場の実態に合わせた非常勤講師などの勤務時間数や人員の確保に関してどのような対応を考えているかあわせて伺う。</p>	川嶋総務部長 花井教育長